

以下の通り、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領（案）に対する意見募集について」
と題して意見募集を実施しておりました。

<https://www.ipa.go.jp/about/pubcomme/201508.html>

この募集に付きましては、私ども東京コロニーとして、情報処理技術者試験に関する配慮の具体例として、下記の内容を挙げさせて頂きました。

[ご意見]

- ・ 該当箇所（該当箇所が分かるように明記して下さい。）

7 ページ「第6 合理的配慮の具体例」

（合理的配慮に当たり得る物理的環境への配慮の具体例）

- 情報処理技術者試験の CBT 受験において、個別の障害や疾病に配慮し、椅子や机の高さを調整できるようにする。また、本人の使いやすいブックホルダーや車椅子につける小机など、試験の公平性に関与しない機材の持ち込みを許可する。
- 情報処理技術者試験の CBT 受験において、個別の障害や疾病に配慮し、受験者本人が利用できる周辺機器やソフト（マウス、タッチパッド、ソフトウェアキーボードなど）の使用を許可する。

（合理的配慮に当たり得る意思疎通の配慮の具体例）

- 情報処理技術者試験の CBT 受験において、ロービジョンの障害者に対し、問題文のみでなく、画面上の操作ボタン等全ての要素を利用できるよう拡大する。
- 情報処理技術者試験において、紙面の文字の拡大をする際は、画一的な拡大でなく、用紙の大きさなど個別の配慮を行う。
- 情報処理技術者試験において、パソコンのメモ機能を利用可能とする（あるいは同様の機能）。代筆受験では、計算途中のメモや式の展開など、介助者（試験場の担当者）に指示を出し意思疎通を図りながら筆記するが（介助者が）、発声に負担がかかり意思伝達に手間取るケースなどにおいては、本人がパソコンにメモをすることを認める。
- 情報処理技術者試験において、会場への問い合わせはメールでも行えるようにする（現状では電話のみ）。発話が困難な受験者も自身で問い合わせができるようにする。

（ルール・慣行の柔軟な変更の具体例）

- 情報処理技術者試験の CBT 受験において、障害により操作に時間がかかる際時間延長を認める（現状、ペーパー試験の特別措置受験のみ可能）。
- 情報処理技術者試験において、障害により午前の受験時間に間に合うことが難

しいケースに配慮し、午後選択ができるようにする。

○情報処理技術者試験において、介助者（試験介助ではなく身体介助）の入室および待機を認める。呼吸器の若干の操作や姿勢の調整程度の介助があれば、試験そのものは支障なく受けることが可能であるケースも少なくない。

○情報処理技術者試験において、障害のある人からの相談・問い合わせについては専門部署を設け、対応を統一する。安心して受験ができる体勢を整備するとともに、会場による対応の差を作らない。

○情報処理技術者試験において、試験会場の事前の下見を可能にする。持ち込み機材の接続チェックなどの他、車椅子での会場の利用しやすさ、および画面の文字の大きさ、机の高さなど、個別の配慮を得るために受験者本人が確認できる機会を保障する。

・理由（可能であれば、根拠となる出典等を添付又は明記して下さい。）

各種 IT 系資格試験の対応状況（参考）

➤ 情報検定（J 検）※文部科学省後援

<http://jken.sgec.or.jp/information/index.html>

⇒「身障者特別措置」を参照

➤ 日商 PC 検定※日本商工会議所

<http://www.kentei.ne.jp/pc>

⇒読み上げソフトを使用しての受験が可能（下記参照）

<http://www.os.rim.or.jp/~moushoku/kentei/pckentei.html>

➤ マイクロソフトオフィススペシャリスト

<http://www.odyssey-com.co.jp/accessibility/>

CBT 方式であっても、時間延長やマウス・キーボードの持ち込みなど、柔軟に対応が設けられている。尚、同社（株式会社 オデッセイ コミュニケーションズ）が実施する他の資格試験においても、同様の配慮が受けられる。

➤ 情報処理技術者能力検定認定（および同社の実施する各種資格試験）

<http://www.sikaku.gr.jp/web/wc/org/apply/measure/>

同社（株式会社サーティファイ）の実施する各種資格試験において、様々な当別措置を受けることができる。

● 資格試験会場に関して

CBT 方式による IT 系資格試験の最大手プロメトリック社では、特別受験という形で時間延長や機材持ち込みの対応がなされております。

http://it.prometric-jp.com/reserve/special_accommodation.html

IT パスポート試験におかれましても、プロメトリック社の試験会場を設けておられますので、同様の配慮を受けることは可能なのではないのでしょうか。

CBT 試験の、「受験のしやすさ」、「学習計画の立てやすさ」、「申込みから結果の確認までの迅速さ」といったメリットを、障害のある受験希望者も等しく享受できるよう、よろしくお願い申し上げます。

以上